

## IPEC21 11th INTERIOR PRO EX CO 2005

Japanese English

東京ビッグサイト<会場>  
2005年9/28(水)→30(金)

### ■ IPEC21開催のお知らせ

本年もJIPA主催による「IPEC21 2005」が開催されます。会員皆様にはパンフレット(=招待券)が届いていると思います。まだの方や、紛失された方はIPEC21のホームページ事前登録にて招待券が発行されます。また、その登録証をプリントアウトしてお持ちになると入口での登録作業が省かれます。ご利用ください。(URL: <http://www.ipec21.jp/entry/>)

日時: 2005年9月28日(水)~30日(金) 10:00~17:30

場所: 東京ビッグサイト

その他詳細はホームページ (<http://www.ipec21.jp>) をご覧ください。

### ■ 第22回法人会員インフォメーションの会のお知らせ

テーマ『もっとクリエイティブに』

法人会員から正会員・一般会員への情報発信の場としてインフォメーションの会を開催いたします。「もっとクリエイティブに」をメインテーマに法人会員によるプレゼンテーションとショールーム見学を行います。また終了後、会員交流の場として軽いパーティを準備しておりますので是非ご参加ください。

★ 発表企業1 株式会社カンディハウス「良質な木材で、長く愛用出来る日本の家具を創る」

スピーカー: 青沼 豊氏 取締役東京営業本部本部長

(株)カンディハウスの考えるリデザインについて、定番・リデザイン・復刻品など実際の製品を例にして具体的に解説します。会場は、新に製販一体となったカンディハウス東京ショールーム。最新のコンピューター制御機械と、それを扱う熟練者の確かな目と手!カンディハウスが取り組む物作りの姿勢を体感できるこのフラッグシップ・ショップを新商品発表会に合わせて見学します。ご期待下さい。

★ 発表企業2 ソルーシア・ジャパン株式会社

スピーカー: 河原 伸自氏 LGI部 市場開発 部長「デザイナー、建築家の創造性を沸き立てます」

日本で合せガラスと言えば、防犯ガラスが主流ですが欧米では合せガラス用中間膜に色やデザインを盛り込む方法でインテリアから外装に至る様々な用途で採用されています。Vancevaと言うソルーシアのユニークなPVB中間膜を紹介し、皆様の新たなデザイン創造の意欲を沸き立てます。斬新なメタリックカラーが新たな可能性を引き出します。

●とき: 2005年9月15日(木曜日) 18時30分~21時(受付時間 18時00分)

前半 企業発表 後半 SR見学と懇親会

●ところ: (株)カンディハウス東京ショールーム

新宿区西新宿 1-23-7 新宿ファーストウエスト 3F 電話: 03-5339-8250

●会費: 会員・・・1000円 ビジター・・・1500円 学生・・・1000円 \*懇親会費含む

●定員: 80名(申込み先着順)

■申込み締切 定員になり次第

JIPAT事務局までFAXでお申し込み下さい。※申込用紙はホームページニュース欄からダウンロードして下さい。



### ■ JIPA交流会のお知らせ

本年もIPEC21開催中にJIPA(日本インテリアプランナー協会)の交流会を開催いたします。JIPATが監事協会になっ

ていますので、会員の方々はこぞってご参加ください。

日時: 2005年9月29日(木) 19:30~(直前までIPEC21イブニングコンベンションが開かれております。)

場所: 東京ビッグサイト IPEC21 2005 展示会場内

会費: ¥2,000(予定)

### ■ イベント情報

HOUTOKU New Line '05 [REICA] 展示会のお知らせ

このたびホウトクショールームに於いて、2005年新作家具“レイカ”を発表いたします。変わりつつある公共・教育施設、企業の飲食スパー



ス向けの家具として、清潔で明るく心地よさを体感できる背・座にメラミン化粧板を使用した新しい椅子です。リアルとしてのメラミン化粧板の特長を生かしながら薄くてシンプルなラインの背・座の構成により美しさを強調、機能美を追求したデザインを実現しました。今回、ショールームにアニマル柄を含む「8Color」が放つサプライズ空

間が誕生します。どうぞこの機会にお誘い合わせの上、ご来場ください。

[DATE] 2005年9月14日(水)~9月16日(金)

[TIME] 10:00~21:00

[PLACE] ホウトクショールーム

[ADDRESS] 東京都港区西麻布 4-3-11 泉西麻布ビル 1F

[TEL] 03-5467-0025

[HP] <http://www.houtoku.co.jp/>

(企画開発部 石田桂子)

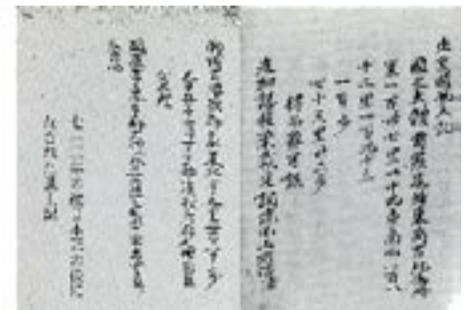
## ■ 知って知らない道具作り

### 『坪について』

私が生まれた京都の家は、表通りから裏道に抜ける細長い造りだった。子供の頃は電灯も明るくなく、明かり取りの用から中央に坪庭があった。小さな池があり太鼓橋のような渡り廊下があった。坪の事を耳にするたびこの幼少の頃を思い出す。もともと四角の囲まれた家屋の場所を坪と呼んでいたようで、田地の測り方は歩いて何歩だからという計算で決めていたようです。この歩(ふ・ほ)を基準にしている、長さも、面積も最小単位をこの歩をあてていました。現在私たちもキロと呼んでいる単位もキロメートル・キログラムと言っているのと似ています。歩とはもともと中国の周の時代に(ギリシャ時代)左右の歩幅、二歩が(イチ歩)つまり現在の60Cmであった。それを一平方歩にしたのが

どうやら坪になったようです。日本書記に「田は長さ30歩広さ12歩を段となし」とつまり30×12=360歩を一段と言っていたわけで、それを太閤検地で300歩にした。すると坪はその100分の1の3歩となり、3歩×60Cmは180Cmとなり計算がなりたつのですが、これは私の押し付けでしょうか。現在のかな尺(曲尺)は明治の始めに伊能忠敬(没後)の折衷尺を公式の曲尺にしたときから現在使っている1尺を30.0303にした、がまだ一坪は京間の量2量分で6尺5寸四方が一般的であった。明治24年1891年国際度量衡が施行されてメートルが使われるようになって「歩或ハ坪6尺平方」が1坪になった。坪とくれば、「一人工」が我々の仕事には欠かせませんのでこれについて追記したいと思います。元々は一坪を一日で仕上げるのにかかった人数の事で、例を挙げると京都紫宸殿の人工は124人工だったそ

うです。現在は労働量になっていてメートルで人工量を出すので1.65というような少数点ができるが、これは坪の3.03を掛けると5人工になるわけで、面白いのはエクセルで計算式をたてると、5時間働きました、実働時間は18です。なんだかクイズをしているようで、働いた時間を秒に換算すると60秒×60分×5時間=14400これを8時間労働の800で割ると18になる。我々は秒で給金を計算できるのですが、世の中それほど甘くはないようです。



## ■ 第4回 総務IPセミナー

(7月に予定されましたが、台風で延期になったものです)

IP法律ファイルその4:『トラブル対策の実戦知識』

◆テーマ《設計・施工のトラブル予防と対処 - I 》

◎設計料や工事費を、確実に入手できる 契約書の作り方と契約方法とは!

◎設計・監理・施工・物品販売における瑕疵責任の訴求範囲は!

◎未収金訴訟や瑕疵責任の裁判に勝つには!

◆講師: 田辺 克彦(たなべ・かつひこ)氏(田辺総合法律事務所・所長) 弁護士 第一東京弁護士会所属 東京地方裁判所民事調停委員 三和シャッター工業(株)監査役

☆今回のテーマに関連した事案で、事前質問を申込書にお書きください。田辺弁護士が講義の中でお答えします。

◆司会: 吉瀬 宗直(総務委員会 副委員長)

◆とき: 2005年10月17日(月) 18時30分~20時30分、受付開始: 18時00分

◆ところ: INAXアーキプラザ・8階・セミナールーム

<中央区京橋3-6-18 TEL: 03(5250)6530 >

◆会費 会員: ¥2,000 一般ビジター: ¥2,200 学生ビジター: ¥1,000

◆定員60名(申込み先着順)

◆申込締切2005年10月06日(木)

事務局へFAXにてお申込ください。 JIPAT事務局 FAX 03-3446-1417

◆申込書はホームページNews欄からダウンロードしてください。



## ■ 途中下車

### 『ノエシス社の紹介』

新しい法人会員になられたというのか、なっていたと云うのか、とうとう、、、と云うべきかな。そんな会社にお邪魔しました。この会社は私どものホームページを作ってもらったり、このニュースレターやインフォメーションを配布して頂いている会社です。いままではほとんどボランティアでやって頂いていました。法人会員になられたので途中下車してみました。会社名「ノエシス」とは何ですかとお尋ねしたら「哲学のみち」というラテン語から名づけたのですよと鈴



木取締役。「ホームページはいくらで作ってもらえますか」と私。いやいやわが社は工事総合管理ソフト(コモード)を開発している会社なのです。15年程たちますが、全国で2000社程が、わが社のコモードを使って頂いています。お客様の評判も上々で「コモードの見積は階層型になっていますよね。私も頭の中に階層のイメージがあったので違和感なく使用することができました。見積書の他にも顧客・工事やお金の管理ができるというのがコモードのいいところですよ。それから以前に使っていたソフトは何か問題が起きた場合に電話で問い合わせをすると「わかりません。」と言われてたり、対応がすごく悪かったんですがノエシスさんの場合はちゃんと電話で対応してくれます。」とお客の声。パソコンはここ20年ほど前に生まれて、ここ数年は急激に伸びています。物件が発生した時点で担当者がデータを入力します。すると見積りを拾い出した経理の人がそのままパソコンに取り込むので数量や単

価を間違えるということは殆どなくなりますね。それに対し担当者が下書きを清書させると清書した見積書を担当者がまた確認しなければ提出はできません。その分だけ時間と人件費の無駄になります。工事台帳や顧客台帳もそれが必要になったときすぐ作ればどんな工事が今あるかをいつでも誰でも確認できます。人によっては手書きやいろいろなソフトを使っているのでは時代に対し極端に後れを取っているといえます。コモードで全ての工事の管理を情報化すれば、例えば古い工事のことや、請求書等を探し回ることなくできます。また経理は今どんな工事が進行中なのかを営業に確認しなくても知ることができます。現場毎に未収金や粗利益なども正確に把握できるようになり、昨年の顧客別・担当者別の売り上げや利益率、あるいは業者別の支払状況、また来月の入出金予定などほしい情報が必要なきわずか数分で手に入れることができます。

■ 3分間のタイムスリップ

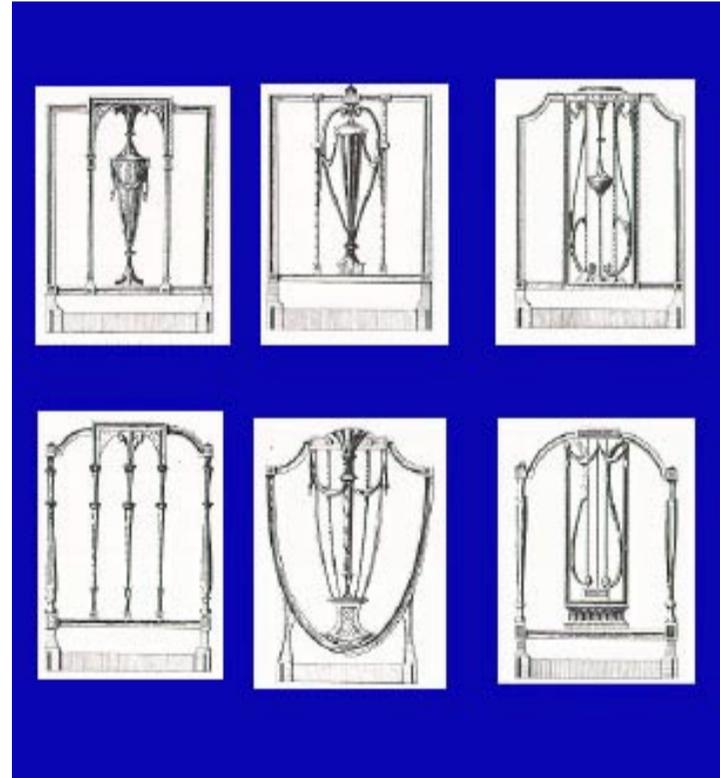
シラトン「Thomas Sheraton」 ii

箱物家具のデザインの特徴はイスと同様軽快につくりあげることである。框材は細身に、平面部分の多い扉は卵形や円形のハンディング（帯縁）を装飾パターンにさらに扉の周囲を縁取りしてデリケートな感覚を強調して垂直にのびた先細の脚、上品な造り、そして全体的に調和のとれた家具は18世紀末まで発達しながら続き、1790年代にその絶頂期をむかえた。トーマス・シラトンの図集『キャビネットメーカー・アンド・アフオルスターズ・ドロウイング・ブック』（家具および家具装飾の図面帳 1791年から1794年にかけて三部シリーズで出版された）の中にそのよい例が載っている。シラトンは1751年にストックトン・オン・ティーズで生まれ、1790年代はじめにロンドンに出てきたといわれる。彼はキャビネットメーカーとしての修業をしたとされているが、彼自身の手になるという家具はない。彼は非常に有能な製図家であったと同時に、哲学や宗教に関する研究者でもあって、多くの著作もある。彼のこの図集は18世紀後期のすぐれた家具を、多くの図によって我々に示してくれているため、これにより当時どのような家具が作られていたかを具体的に知ることができる。それは当

時の職人たちにも同じように重要視され、彼のデザインのほとんどが忠実に製作された。このためこの時期の大多数の上等な家具は、今日“シェラトン様式”とされている。シェラトンは、自分のデザインの特長と、アダムやヘップルホワイトなどの先人や同時代の人々の装飾とをうまく調和させることにより、イギリス家具に独特な優雅さをもたらした。ついで19世紀になると彼は古典様式運動に影響を受けるようになった。

1803年に『キャビネット・ディクショナリー』（家具と装飾に使用されたすべての術語をアルファベット順に解説し、それぞれに図版を付けた独創的な事典）を出版した。彼はこの中にフランスやギリシャ様式の図版を入れ、獣の姿、トルソー頭部、足を多く上りいれることを提唱した。これは高級品にも一般的な家具にも影響を与えたが、その典型的な例が真鍮製のキャスターの形にみられる。18世紀の中ころまでは飾りもなくシンプルなものであったが、19世紀に入るとライオン足を写実的に表現したものとなった。このパターンは1820年代初

権のもとで、イギリスの経済が一段と強くなったことに関係している。1763年のパリ条約の調印によって、植民地を巡ってフランスと戦った7年戦争が終結した。フランスに勝利したイギリスは、経済進出のための新天地をアメリカ大陸やインドなどに求めて、勢力を拡大していった。かくして経済的に余裕が出てきたイギリス人たちは、さかんにフランスの家具や装飾をとり入れたため、再びフランスの影響が強くなった。こうして富裕階級が大きくなったことにより、グループを作って歴史や芸術を研究したり、おしゃべりしたりする一種のサロンが生まれ、そのための家具や室内装飾が発達した。



めまで人気を保っていたが、アーカンサスの葉のデザインが出てくるまで流行した。また、この時期には多くの建築家やデザイナーが輩出したが、これはこの時期に富裕なパトロンがそれまでになかったほどたくさんいたためである。金持ちがそんなに多かったというのは、ホイッグ党政



DESIGNS FOR CEAIR-BACKS, THOMAS SHERATON, 1791-4  
In his Cabinet-Maker and Upholsterer,s Drawing Book Sheraton developed

■ 新入会者紹介

- ◇ 正会員 ◇  
土井貴子 コクヨオフィスシステム(株)
- ◇ 一般会員 ◇  
三橋純子 (株)鈴木室内装飾  
村川達夫 ティエムコンサルタント  
当房寿江 BELAPLAND  
加藤道子 住友不動産シスコ(株)

■ 編集後記

情報委員会 懇親会  
8月18日(木)に情報委員会の懇親委員会が、明治記念館ビアテラス「鶴鶴」で開かれました。参加者は13名でした。会員の皆さんに情報委員会とはどんな委員会なのか知っていただこうと、委員以外の方の参加も呼びかけましたが、残念

ながら委員のみの参加となってしまいました。午後6時半、乾杯の後、ニューズレター等のメール配信の件やHPについての意見が交換され、非常に充実した委員会を行いました。委員会の後、おいしいビールを飲みながら、それぞれの近況報告や委員会の活動についてなどを楽しく語りました。

